

あだたら

九月二十七日(日)

秋の僧悟台登山道整備

報告 編集部



登山道整備参加者

二十七日(日)、安達太良山僧悟台登山道で、整備作業を行った。今年には作業を予定していた日曜日に雨が続き、中々作業実施できなかったが、漸く、雨が降らない日曜日が来たので、まず馬返し分岐から湯川の徒渉地点では、橋が昨年未だに流出したままだったので、二十日ほど上流に仮橋を設置した。

そこから急斜面を登りながら、道にはみ出していた笹や灌木の刈払いを実施。僧悟台の台地では、黄色の

第383号
発行所 松山市 山部
本誌 松山市 山部
あだたら 山部
編集 山部

●編集部連絡先
二本松市部内11-515
0243(22) 4245
Fax可 渡辺 正

「アキノキリンソウ」、紫色の「エゾリンドウ」が沢山咲いているし、食用の可愛い赤いタマゴタケも見付ける事ができる。ハクサンシャクナゲは大きな花芽が付いており、来年は見事な開花が期待できる。道の大きな水溜まりには、土嚢袋を設置、また通過支障木の伐採も行った。僧悟台分岐では真っ黒い雲が押し寄せて来て、天候悪化が予想されて、正午過ぎ早めの下山となった。会員他も含めて六名が参加した。



仮橋、架橋作業



僧悟台分岐で昼食



リンドウと一緒に記念撮影、よく見えないけど



登山道で見付けたタマゴタケ、殻が付いているので食用



水溜まりに、土嚢袋

毎年、きちんと手を入れている僧悟台登山道、インターネットの「グーグルマップ」でその大部分を辿ることが出来ます。特に目立つのは、僧悟台分岐。その場所大きく丸く「8」の字の様に見えます。偶然ですが、刈払いの時、灌木残して、廻りを刈ったからです

が、それが上空から(人工衛星から)実に綺麗に見えるのです。今後もあの場所は今の形維持できるように、刈払い・伐採行う事としましょう。別の場所にも、このような場所があると楽しいかも。僧悟台登山道整備、奮ってご参加下さい。



僧悟台分岐、下からの道が「霧降り滝」

「グーグルマップ」で探してみたら
綺麗な8の字、僧悟台分岐

『ごきごきさん、個人山行』

八月十八日(火)、一切経山



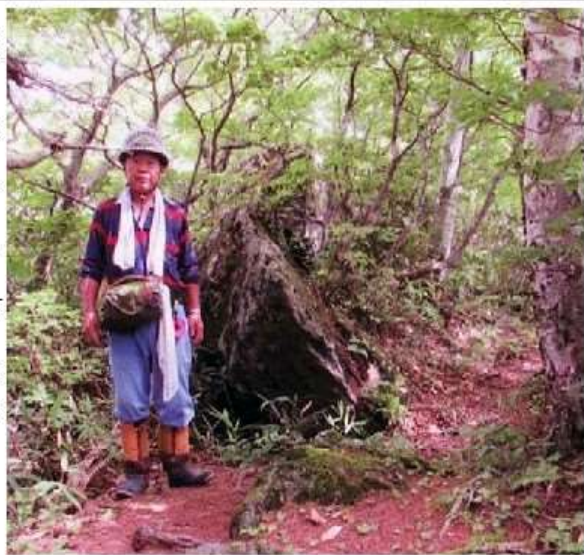
一切経山頂

お盆前の仕事が残っていたが、十七日に全部終り納品。少し仕事があくと、浄土平十時発。リンドウ二ヶ三ヶ咲き始めていた。酸ヶ平小屋十時五十分。小屋で休んでいると、母とじいじと来たという四才の男の子、元気な可愛い子供であった。天気も良く多くの登山者。山頂十一時五十分、五色沼や眺望を楽しむ事ができ

八月二十八日(金)、鉄山(僧悟台)
天気良く日もまだ長い。今なら鉄山小屋近くの越後

九月七日(月)、家形山

家形山へ、不動沢登山口。九時三十分入山。賽の河原までの登山道は土が流され、沢となり歩きにくい。所々沢の脇を刈払いた所は、歩き易いが、悪路と言っても過言ではないと思



下一本松(僧悟台)

沢登山口七時出発する。出糞するともう汗ばんで来る。湯川を越える頃には、汗が噴き出し、何時もと違うなと感じた。水場七時五十分。鉄山迄行くのは諦め、僧悟台迄ならば林の中、行ける所までと思ひ、水場で用意していった空のペットボトルに水を満タンに、ジグザグの登りも休み休み行く。見晴九時、林を過ぎ、

地蔵(西向地蔵)のルートに目印を付けられると、塩

四十分、山荘の様子を見る事にし山荘へ向かう。途中の湿地帯ではリンドウが咲き乱れていた。山荘前の小さなテンプルの上に昼食の準備をする。突風で飛ばさり尻餅。左足三カ所擦り傷



慶応山荘

九月十四日(月)、弥兵衛湿原

弥兵衛湿原への林道下見で入山。会山行の吾妻縦走、一部の人が誘われたが断る。皆など一緒に行く自信が無い。だが弥兵衛湿原の明星湖、今一度行ってみたい、十三、十四年を思い出し、林道がどうなっているか確かめたく入山する。

登山口、三時半無事下山。駐車場近くの湯川の橋のたもとには、五、六台の車を求めドアを開け、足を

だが無事下山。スカイラインは突風で車のハンドルが取られそうになる。土湯峠まで下ると風は殆ど無くなった。



米沢放牧場上の駐車場

事があるが、その後行っていない。過疎となった大沢部落より舗装された林道に入り、吾妻山麓放牧場まで入る事ができるが、その先の林道は車では入れないほど荒れている。植林された脇は良いが、その先はススキや笹、木の枝が被り、雨も降り始めたので、カッパまで着て、下見する必要ないと諦め、約三十分位百位位登ったが、諦め下山。放牧場駐車場で、のんびり牧草食している牛達を見ながらの昼食。午後は米沢まで下り、川西町で風呂入り、高島町などドライブで楽しんで来た。